

Oasis セミナー 鶴田能史さんを囲んで（続き）

唯一無二のデザインを

では、私から質問をさせていただきます。みなさんのクリニックの良いところを上げてください。幾つありますか？

これがいくつあるかが重要なのです。良いところが10個以上あれば、それは唯一無二のものになれる。私はそう考えています。良いということではなく唯一無二です。

私のデザインもそうして作っています。そして10個目にとどめを刺すようなキーになる要素をあげる。例えば、先ほどの点字のようにコミュニケーションができるファッションなどは他では真似ができません。

アイデアは無限大

私が今着ている服の点字についてはお話しましたが、シャツのボタンはすべてマグネットになっていて簡単に着脱できるようになっています。このネクタイもマグネットで、ネクタイのほか、ご覧のようにホワイトボードのマグネットとしても使えます。

私がアイデアの宝庫としているのが、100円ショップです。本当にさまざまなものがあって興奮します。千羽鶴のスカートにはスプリングを使っていますが、このスプリングも特注なんかではなく100円ショップで見つけたものを転用しています。使えるものは何でも使う。どう使うかがアイデアなんです。

アイデアは必ずしも新しいものである必要はなく、数多く経験して経験の引き出しを多く持



つ、その経験を組み合わせる新しいアイデアにする。まさにアイデアは無限大なのです。

我慢を楽しむ

何でも100%満足できるものはない、どこで妥協するか、また妥協すべきかということも重要です。ファッションにはいわゆるファッション性と機能性が求められますが、例えば、オートクチュールが100%ファッション性を追求するものだとすると、ユニクロやしまむらは価格や大衆性も含めた機能が重要視される。私はファッション性7、機能性3ぐらいの比率でデザインしています。かっこよく見せるためには、着る人にもある程度我慢をしてもらわないといけない。しかし、実はそういう我慢は皆さんできてしまう。

見過ごす力

100%満足できるものはないと申し上げましたが、私はいつも、政治家たちはどうして仲間で足の引っ張りあいをしているのか？と不思議に思っています。汚職や何か問題があるとすべの審議がストップして追及する。そんなことより本来の社会の問題解決に力を注ぐことの

ほうが重要だと思うのです。

本当に重要なことに焦点を当てて、それ以外はある意味見過ごしてしまう。そう「見過ごす力」とでもいいましょうか、これも重要です。ゴールにたどり着く道筋は一つではない。100も1000通りもある。それなのに最初の一步で意見の違う人を排除したり、可能性の芽を摘んでしまうことは本当に残念です。

世の中を変える

ITもそうですが、新しいものがどんどん投入される。そうすると、最初は慣れないので使い勝手が悪く、クレームがいっぱい出てくる。しかし、それでも使っていると、やはり新しいもののほうが機能性も高く便利だということに気がついて、新しいものにシフトしていく。世の中を変えるというのはこういうことなんじゃないかと考えています。最初は簡単には受け入れられないかもしれないが、ゴールにたどり着く、結果を出すために、自分が力を発揮できる環境を作っていくことが重要なんですね。

※

私たちOasisも患者さんの生活の質の向上をゴールにさまざまなチャレンジをしています。そこに到達するための貴重な示唆を得ることができました。鶴田さんと思いを共有できました。患者さんのためにどんなことができるのか、今後ともディスカッションをさせていただきながら、協力をお願いしたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

Oasis Heart

オアシスから心^{こころ}をこめて…



第13号 2017.2
創刊1周年特別号

院長のとおきのお話

より良い未来のために良い習慣を



「Oasis Heart」創刊1周年を迎えて

「Oasis Heart」は、おかげさまで1周年を迎えることができました。継続は力なりといいますが、有り難いことに周囲の方々から色々なコメントをいただく機会も増えました。

患者さんの疑問や不安を軽減できるよう、これからも有益な情報を提供していきたいと思います。

透析はもう生活の一部

透析医療は通常の医療とは少し異なり、患者さんは週3回以上通院することを余儀なくされています。月1回の外来診察なら時間はかかっていても2時間ほどで終わりますが、血液透析では週3回、1回4時間以上病院にいて治療を受けています。これはよく考えると凄いで、週のうち12時間（7%強）もの時間を透析に費やしているのです。仕事、睡眠に次ぐ長さではないでしょうか。そんな医療は血液透析以外には見当たりません。

それだけに、患者さんには不思議な感覚があると思います。日常生活の中に病院が組み込まれていて、通院しているというよ



り、通学？ 通勤？ といった感覚が少なからずあるのではないのでしょうか。

大切な習慣

そうなると透析も完全に日常生活の一部と化してきます。これはある程度仕方のないことですが、慣れてきてしまうのです。習慣は怖いもので、それが当たり前になってきてしまいます。良い習慣であればいいのですが、悪しき習慣だとそこを修正するのが難しくなってきます。

体重コントロール、水分制限、塩分制限、カリウム・リン制限など、透析患者さんには色々な制限がかかってきます。患者さんを制限でがんじがらめにするつもりはありませんが、バランスはとってもらいたいです。

「今日飲みすぎちゃったから次回は抑えよう」「昨日食べ過ぎたから今日は少し軽めにしよう」といったことからでもいいと思います。まずは意識をすることが大事なので、自分の体や行動に意識を持っていただきたいのです。その積み重ねが習慣となり、より良い生活に反映されてくると信じります。

より良い未来のために協力を

透析医療は医療者と患者さんの共同作業で成り立っており、どちらか一方だけでは十分な効果や結果は得られません。しかし、両方が満たされていれば、その利益はあなた自身に戻ってくるのです。

これは、ご自身の未来はある程度ご自身でコントロールできるということです。もちろん、予期せぬことは起こりえますが、そのリスクをコントロールすることは可能です。より良い未来を築くためにはご自身と医療者双方の理解と協力が不可欠です。

（田端駅前クリニック 院長 青木 竜弥）

今月の心を元気にするペプトーク

「感謝」は前向きな人生のエール

【解説】先日、SNSに「ホテルの朝食に出たクロワッサンが…固い!」という不満を書いたところ、私がパン好きであることを知っている友人たちから書き込みがありました。なかでも「美味しいクロワッサンが買える近所の店に感謝しようね」という一文を読んだときに、日頃の有り難い状況をあらためて思い出し、一日をあたたかい気持ちで過ごすことができました。不満や批判は、時として物事を改善するために有効なこともあります。不満をぶつけるだけでは自分の気持ちは暗い方向へ落ちて行きがちです。むしろ、プラスの状況を探し出し、感謝することで明るく前向きな人生が開けていきます。すなわち、他者への「感謝」は、自分自身へのエールにもなり得るのです。

不満) それだけでは物事は良くならず、
暗い方向へ進んでしまう
感謝) 周囲の環境や人間関係の良い面が見え、
豊かな人生の基盤になる

提供：一般財団法人日本ペプトーク普及協会
理事 占部正尚 <http://www.peptalk.jp>
参考書籍：ビジネス・ペプトーク（日刊工業新聞社）

編集部から

鶴田さんがデザインされたファッションをまとったモデルさんやご家族の笑顔は、「ファッション細胞」と名付けられるように本当に素晴らしいものです。鶴田さんはこの笑顔にも支えられつつ、さまざまな障壁を乗り越え挑戦を続けておられ、医療サービスのみならず経営の視点でも重要な示唆を得ることができました。何よりもチャレンジを続ける勇気をもらったような気がします。鶴田さんが主宰する「テンボ」については下記ホームページをご参照ください。
<http://www.tenbo.tokyo/about/>

「今さら聞けない FAQ」、みなさんの率直な疑問にお答えできましたでしょうか？ ご質問ご意見がございましたらお寄せください。引き続きみなさんの素朴な疑問に答えていきたいと考えています。そのほか「Oasis Heart」へのご意見、ご要望などございましたら、合わせて下記田端駅前クリニックホームページ、二ユーズレター、「Oasis Heart」に対するアンケートはこちら」にお寄せください。
http://www.tbt-toseki.jp/news_letter/

Oasis Heart 編集部 医療法人社団 Oasis Medical 内
〒114-0014 東京都北区田端 1-21-8NSKビル 4F
TEL03-3823-9060 FAX03-3823-9061
東京での夜間透析、臨時（旅行等）透析はアクセスのよい
東京新橋透析クリニック (03-6274-6320 www.toseki.tokyo)、
田端駅前クリニック (03-3823-9060 www.tbt-toseki.jp)



透析療法には血液透析と腹膜透析があります。

どちらも体内にたまった尿毒素や老廃物の排泄、電解質や酸性・アルカリ性のバランス維持、体液量の調節を行い血液をきれいにします。血液透析は人工腎臓の機械を使い、腹膜透析は自分の腹膜を用いて透析を行います。血液透析をもう少し詳しく説明します。血液を一度体の外に出し、ダイアライザー（透析器）という装置の中を通し、再び体内に戻します。ダイアライザーの中には、数万本の細いストローのような糸が通っていて、血液はその糸にある細い穴の中を通ります。糸の外には、透析液が、血液とは反対方向に流れています。透析膜には nm （ナノメートル = 10^{-9} メートル）単位の非常に小さな穴があいていて、血液と透析液の中の成分が出たり入ったりできるようになっていますが、この穴は分子の小さなものしか通しません。血液がダイアライ

入り、血液の酸・アルカリバランスが中性になるように調整されます。このようにして浄化された血液を再び体内に戻します。

正確な理由は分かっていませんが、関係していることもあります。「汗をかく」ためには、体外的条件、体内的条件があります。対外的な条件としては、汗腺の問題があります。なぜ、透析患者は汗が出なくなるかはまだよく分かっていないのですが、何らかの原因で汗腺が委縮したり、機能が低下していると考えられています。

り、汗をかきづらい状態になっています。

はい。関係しています。透析患者さんは、厳しい水分制限と透析による除水により便の構成成分である水分が少なくなること
で便秘になりやすくなります。

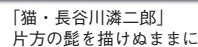
また、透析患者さんでは、体内のリンやカリウムの排出もできにくくなり、過剰になると悪影響が出るため制限していますね。
便秘はそれとも関係があり、リンの場合、患者さんはリン吸着剤を服用しますが、この影響で便秘を起こすこともあります。

一方、便秘予防には食物繊維の多い野菜や果物を多く摂りたいところですが、どちらもカリウムを多く含んでおり、摂取量を増やせないことも挙げられます。

リンもカリウムも食事と直結する重要なテーマですので、質問 6・7 で詳しく説明します。

透析患者さんが不眠を起こす原因としては以下のようなものが挙げられます。

- 1) 身体的要因：皮膚の痒み、むずむず脚症候群によるイライラ感、睡眠時無呼吸症候群による日中の眠気などが挙げられます。
- 2) 生理的要因：透析中に必要以上に睡眠をとることで睡眠バランスを崩して夜間眠れなくなります。
- 3) 心理的要因：ストレスやショック、不安が原因で起こる不眠
- 4) 精神医学的要因：うつ病や統合失調症などの精神疾患が原因で起こる不眠
- 5) 薬理学的要因：アルコール、タバコ、コーヒー、内服中の薬が原因で起こる不眠。特に身体的要因は治療により改善しますので主治医の先生とよく相談してください。



はい。でも注意が必要です。

夏場は汗をかきますので、冬場に比べて少し水分を多めにとつ

てもよいですが、取りすぎは禁物です。その差は体格や年齢、性別によって変わってきますが、せいぜい 200ml 程度でしょう。

質問 3 で少し触れたように、食事と直結するため、とても大切なことです。

リンは蛋白質を多く含む肉、小魚、卵、乳製品、豆類などに多く含まれています。また、保存料としてリン酸を添加しているもの、例えば魚肉加工品（かまぼこ、はんぺん、魚肉ソーセージ）やインスタント食品、ベーコン、ハム、ソーセージ、冷凍ハンバーグなどに多く含まれています。

リンは生物が生きるのに欠かせないミネラルの一つで、骨や歯を造るのに必要な成分です。また、細胞がエネルギーを産生することにも関わっています。

体内では、過剰なリンはさまざまな悪影響を及ぼすことが知られています。高リン血症はカルシウムとリンが結合し骨以外のいろいろな組織に沈着し、異所性石灰化を引き起こします。血管に沈着すると動脈硬化や脳梗塞、心筋梗塞を引き起こし、関節ですと関節炎、皮膚だとかゆみの原因になったりします。

さらに高リン血症はビタミン D の産生低下を引き起こし、副甲状腺から PTH というホルモンを過剰に産生させます。PTH は骨を溶かし、その結果、骨がもろくなり骨折や骨痛を生じます。

このように過剰なリンは百害あって一利なしなのです。リンは普通の食事をしている限り不足することはまずありません。必要以上に体内に溜まらないようにすることが重要です。

カリウムが高値になると神経や筋肉の機能に異常が生じます。体を動かせという脳からの命令がうまく神経に伝達できなくなるため力が入らなくなったり、触覚、痛覚などの感覚がうまく脳に伝わらなくなったりします。また心臓の規則正しい電気的刺激が阻害されて重篤な不整脈を起こし、心停止を起こす危険性もあります。目標値は透析前の採血で 5.5mEq/L 以下です。

カリウムの多い食品として果物、生野菜、豆類、海藻、ドライフルーツなどが挙げられます。カリウムを減らす調理法として、カリウムは水に溶けやすいため、細かく切って水にふれる表面積を増やし、ゆでて、ゆで汁を切ることで 50%ほど減らすことができます。

透析治療の目的の一つに除水があります。透析前に体重を測定するのは、その除水量を設定するためです。

透析前の体重を測ることで、前回の透析終了からの増加体重を計算し、除水量を決めます。そのとき目標とする体重を DW(ドライウエイト) といいます。毎回の透析は設定された DW まで戻すことを目標とするため、1 回の透析における除水量の目安は、透析前体重から DW を差し引いた値となります。

透析中に飲水や食事をとられる方も多いと思います。摂取したものは体に吸収されますので、その分も除水量としてカウントし引かないと増えた体重を残したまま目標の DW まで戻せないことになります。

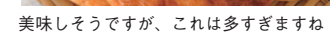
厳密に吸収された摂取量を測定することは困難であり、お弁当や飲み物の重さを測ることでおよその摂取量を把握し除水量に反映させています。

召し上がる時は、量と食べ方に注意しましょう。

透析中に食事をすると、消化管に血液が集まり循環血液量が減少し血圧が下がります。加えて、食事を摂取するために座位になることも血圧が下がりやすい状況を作ることにつながります。

また、食事中の栄養素が吸収されるには、30 分～ 2 時間程度の時間がかかると言われています。

したがって、血圧が低下しやすい状況と食事中的カリウムやリンの除去の両方を考慮すれば、一般的な4～5時間透析の場合は、透析の前半に食べる方が望ましいと考えられます。



お煎餅には塩分、カリウムも含まれていますが、1～2枚であれば問題ありません。透析前半に数枚摂取するくらいがいいでしょう。

ファッションの無限大の可能性

ファッション界のイノベーター

ファッションデザイナー

鶴田能史さんを囲んで

思いっきりの笑顔のために

本日はテレビを始め多くのメディアで紹介され、多忙を極めるファッションデザイナー、鶴田能史さんにお越しいただきました。

鶴田さんの動画を拝見して驚いたのは、鶴田さんのファッションで患者さんが元気になっていくことです。最初はファッションと医療の関係性にあまり気づいていなかったのですが…、本当に驚きました。我々は透析医療の世界でイノベーションを起こしたいと頑張っていますが、鶴田さんはファッションでイノベーションをおこしておられ、大きな共通点があるように思いました。

では、鶴田さんよろしく願いいたします。

「テンボ・tenbo」 世の中 すべての人にファッションを

私たちテンボは、ファッションに関わることをすべてを手がけています。世の中すべての人にファッションを、ということを目的にしていますので、まず、「テンボ」のロゴマークですけれど…



ドクロはすべての人、動物にもありますよね。

どうして知ってもらえないのだろうかというもダメで、どうしたら知ってもらえるのかというふうに、こちらが歩み寄っていかなければいけない。多くの人の身近なところにある、そういったところからこのロゴをデザインしています。

すべてを対象にする、すべての人を受け止めるファッション、障害や病気の有無、年齢・性別や国籍にかかわらずすべての人に好まれる、使いやすい、笑顔あふれるあたたかい、優しさあふれる綺麗な、そして平和を願うデザインを

目指しているのです。

平和を願い差別をなくす 千羽鶴のドレス

まずは広島市に提案をして受け入れられた、千羽鶴で作ったドレスを見ていただきましょう。

世界平和が大きなテーマになりますが、このドレスを纏ったモデルに注目してもらいたいのです。私はあえて黒人を起用したのです。そう、ファッション業界では黒人はタブーとされてきてほとんどが白人のモデルです。こうして差別の問題を意識させようとしています。



みんなが讃えたハンセン病の 元患者さん

昨年10月に開催したファッションショー「2017SS東京コレクション」では、ハンセン病の元患者さんが主役（モデル）となりました。昔は、ハンセン病が疑われただけで、存在を否定されたかのように社会から隔離された生活を余儀なくされました。子供を生むことも許されませんでした。

ハンセン病差別に対する訴えはこれまでもずっと続けられてきましたが、ファッションという切り口で世の中に訴えたのはこれが初めてです。そこに話題性があった。実は現在では、ファッション業界の中にも話題性がなく閉塞しています。つまりこの試みは、双方にとって話題性を提供することに成功したのだと考えています。

もう一つこのファッションショーがこれまでと違っていることがありました。通常ファッション



ショーは、ショーが終われば観客は潮が引くようにさーっと帰っていくのですが、このショーでは、ショーが終わってもみんながモデルのところ集まって祝福し励ましているのです。丁度モデルになっていただいたハンセン病の元患者さんのお誕生日であったこともあります、みんなの気持ちが繋がった、そういう場になったことが嬉しかった。もちろん、意図してはいたのですが…。

過保護にしない

次のキーワードは病気・障害です（障害を持ちながらモデルになってくれた方たちの写真をまじえながらのお話でした）。

（ポーズを取る青年の写真を紹介しながら）モデルになってくれた、なかなかイケメンの彼は、北海道で障害者でも気軽に立ち寄れるお店を紹介するバリアフリーマップを作成しています。彼自身も10代で脊髄炎を患い、現在は車いすで生活しています。この写真ではベンチに普通に座っていますが、私はまず、彼に立って見てくださいとお願ひしました。もちろん、彼は困惑した表情をしました。一人で立つことはできないのです。でも、ありえないことをやってみる。

みんなて四苦八苦してこのポーズをとってもらいました。でもこの写真を見る限り、一般のファッション雑誌に掲載されるモデルと変わりませんね。そう、普通なんです。

みんなの過保護ができない自分を作り、自分自身もそれに甘んじてしまう。病気であっても、障害があっても普通にファッションブルになれるんです。

積極的に魅せるファッションが 生む笑顔の会話

障害を持っていると、見せたくないという気持ちになってしまいがちですが、発想を変えて積極的に見せるという戦略です。この写真の方

は義足ですが、義足に大好きなデザインをプリントして義足をアピールする。義足を積極的に見せる服にする。

どの方も笑顔が素晴らしい。この笑顔に着目してください。ファッションは、気持ちを高揚させ、心に響く、優しく温かい笑顔を生み出すことができるのです。その笑顔が、これまで介護に追われていた家族の笑顔を取り戻す。たとえ重度の障害で会話ができなくても、笑顔と笑顔心で会話ができるようになる。私自身も非常に嬉しい経験をしています。

「ファッション細胞」を 活性化させる

セレモニーに出席するためにオシャレをする。この高揚感には例えられないものがあります。私はこれを「ファッション細胞」と呼んでいます。この「ファッション細胞」を採取して広げていけばいいなと考えています。

この写真の笑顔の女性がモデルに応募してくれた時、脳腫瘍と乳がんですでに余命3カ月の状態でした。彼女自身もご家族など周りのみなさんも口を揃えて、こんな良い笑顔を見たことがないとおっしゃっていました。

これ以降、いろんなイベントに参加してもらいましたが、その間彼女の体調は非常によく、がんの進行も止まっていたと聞きました。そう、ファッションで細胞が活性化したかのように。

臓器にもファッションを

すでに多くの人がカラーコンタクトを使用しているように、これからは臓器にもファッションがあれば良いですね。

例えば、心臓にカラープリントをしてみる。ドクロに金のデザインを施す。

生（生まれる時）はみんな周りを幸せにするが、死ぬときも（お骨になっても）美しくあればなんと楽しいことか。

2017/01/24 医療法人 Oasis Medical ラボにて。患者さんから素晴らしい笑顔を引き出す、ファッションの無限の可能性について熱い想いを語る

濁った水を入れ替える

ファッション業界は、今はとにかく売れるもの、安いもの、健常者をターゲットに業界が動いており、みんな似たり寄ったりのものになってしまっている。濁った水のような状態です。

この濁った水を綺麗にするにはどうすればよいのでしょうか。何回も濾過をすればある程度は綺麗になります。でも、これではまだ飲むことはできません。

私は濁った水を綺麗にするのは相当大変で、全く新しい水に変えてしまうしかないと考えているのです。そう、リセットしてゼロから始めるのです。これが一番効果的なのです。

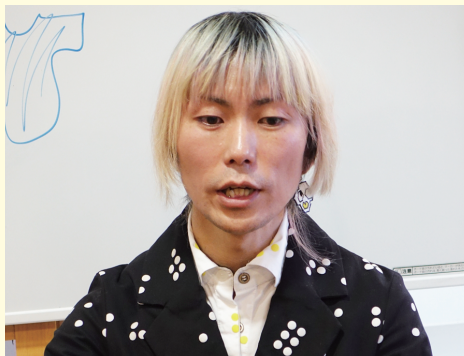
ロンドンにある子ども病院の写真をみてください。これまでの病院では考えられない楽しい空間ですね。しかし、これまでの考え方では、このような病院を創ることはできません。まず、子どもが楽しい、子どもが輝ける場所を創ろうと思って取り組まないといけない。発想の順番を変えることが必要です。周りから「いいね!」と言われるものは、実はまだまだ不十分で、「それは非常識だろう、変だろう」と言われれば「合格!」といったところでしょうか。

コミュニケーションする ファッション

私の着ている服は点字がデザインされています。触ってみてください、凹凸があるでしょう。実際に点字として機能するのです。現在は、常にコミュニケーションをしているが、触れ合う、手触りや実際のあたたかさを感じるコミュニケーションがなくなってしまった。この服を着ていると、ほら、触ってみて、と言いたくなるし、他の人も触りたくなる。私は、この点字のデザインに失われたコミュニケーションを取り戻したいという思いを込めているのです。

世の中すべての人に ファッションを届けたい

私ははじめ、コシノヒロコさんのもとで仕事をしていました。オートクチュール、一着何百万円もするような服を作っていたのです。しか



鶴田 能史（つるた・たかふみ）さん

2003 年 文化服装学院デザイン専攻を卒業、コシノヒロコに師事その後、子供服 ODM 会社
2011 年 昭和学院短期大学講師。舞台衣装デザインミュージシャンの衣装デザインなど幅広く活動
2012 年 JVC ケンウッド・デザインイベント協力
2015 年
1 月 テンボデザイン事務所「tenbo」設立／3 月 Mercedes-Benz Fashion Week TOKYO 2015 A/W／8 月 ロンドン／ミスプリティッシュエンバイヤ衣装部門入賞／10 月 Mercedes-Benz Fashion Week TOKYO 2016 S/S／同月 スポーツオブハート 2015 障害者スポーツ・ファッションショー衣装デザイン担当／11 月 チャレンジドフェスティバル 2015 ファッションショー開催／同月 超福祉展 2015 登壇『臓器のデザイン』発表
2016 年
1 月 ミスツーリズムワールド日本と中国代表衣装担当衣装部門 2 位／同月 レディユニバース（ブルガリア世界大会）日本代表衣装担当衣装部門グランプリ／2 月 SONY 本社フューチャーセッション『ファッション細胞』提言／10 月/リコレ 2016(六本木ヒルズアリーナ)、スポーツオブハート 2016、2017SS 東京コレクション（表参道ヒルズ）

し、実感が湧かないというか、ごく一部の特権階級のために仕事をするのがだんだん虚しくなってきた。

私は人々と身近な関わりを持っていたと考えていたので、コシノさんからロンドンへ行ってくれないかと頼まれたのをいい機会にやめてしまった。ちょうど中間にいて、上も下もコントロールしたいと考えたのです。

それで、コシノさんのもとを離れた後、私はその対極にある「しまむら」のデザインを手がける会社に入りました。いかに安くしてたくさん売るか、そのことが仕事になりました。そこで学んだこともたくさんあります。例えば、色には売れる色と売れない色があるということ、人の本能に基づく好き嫌いがあって、より多くの人に買ってもらうには、売れる色でデザインしないといけないということでした。

そういったなかで、世の中全体にファッションを届けたいと強く思うようになっていったのです。

病人や障害をお持ちの方々のためのファッションは、ご本人たちが本当に素晴らしい笑顔を見せて喜んでくれること、そして、まだ誰もやっていない領域であることから大きなやりがいを感じることができました。また、ニッチでもあったのでビジネスとしてもきっと成立すると確信していました。

（8ページに続く）

患者さんの想いに触れるために

私たちは、「患者さんのために」という想いを胸に、常に努力を続けています。しかしその一方で、その想いや私たちの行動が、「本当に患者さんのためになっているのか?」「もしかして提供している私たちの独りよがりになっているのではないか?」という不安も、常に持ち続けています。

「患者さんのためになること」「患者さんの想い」一きつと、それは患者さんそれぞれの価値観によって異なるはず。しかしそれは、患者さんが持っている「想い」に触れる機会を積極的に持たなければ知ることができません。そしてその機会を得ることは、私たちにとって、とても価値ある出会いであると考えています。

私たちが続けている努力が独りよがりにならないよう、それぞれの患者さんの想いに、できる限り寄り添えるよう、私たちは毎年第三者機関による「患者満足度調査」を実施しています（QLife）。

今年は、田端駅前クリニックと東京新橋透析クリニックで同時調査を実施いたしました。

今回も本調査にご協力いただきました皆さま、誠にありがとうございました。

今回は、2施設を合計した結果（4項目5段階評価）を中心にレポートいたします。

数字が語ること、数字に学ぶこと

やや満足以上を「満足評価」とみますと、全3項目で90%を超える方々が満足しているという結果となりました。唯一「時間関連面」では90%を下回りましたが、それでも87%という高評価をいただくことができ、これはすべての項目で前回の調査を上回る結果となりました。

しかし、医師の対応面、スタッフの対応面において、前回は見られなかった「とても不満」の評価をいただいており、大きな反省の機会となりました。前回の調査からの1年間、研鑽を積んできたつもりではありますが、「まだまだ謙虚さが足らず慢心していたのではないか」という、さらなる内省の機会を与えてくれました。

具体的には、以下のようなお声、ご指摘です。

「患者のすぐ横でスタッフ同士が長々と私的な話をしていたことがありました。また、患者とスタッフで私的な話を大声で長々としていたこともありました。これは周りの患者にとって、ストレスになると思います」（60歳代、男性）



「透析室内で一部の患者との長話が過ぎて、非常に耳障り。」（56歳、男性）

その一方で、こんなご意見も。

「院長先生も穏和で話しやすく、スタッフの方々も明るく話しやすい。毎週3日間で1回4時間という時間を穏やかな気持ちで過ごさせています」（55歳、男性）

「院長さんはじめ、医師の方々が質問などに対し丁寧に応えてくれ、受付、スタッフの対応も良いと思います」（65歳、男性）

私たちは、すべての患者さんに快適と安全を提供したい、すべての患者さんに満足を感じていただきたいと心から思い日々考え行動しています。それでも、患者さんお一人おひとりの感じ方はそれぞれに異なります。私たちが良かれと思い行動したことでも「他の患者さんの快適を奪っていることがあるかもしれない・・・」ということを中心にとどめておかなければならない。そんなことを私たちに改めて深く考えさせてくださる結果でした。

なぜ、私たちが患者さんの声を大事にするのか？

この満足度調査も今回で4回目を迎えました。毎回感じることは、無記名であっても患者さんが私たちに正直な想いを伝えてくださることは、本当に勇気がいることです。だからこそ、私たちはその患者さんの勇気と想いを真摯に、そして謙虚に受け止めなければならないと考えています。

「医療は人を介して提供されるサービス」

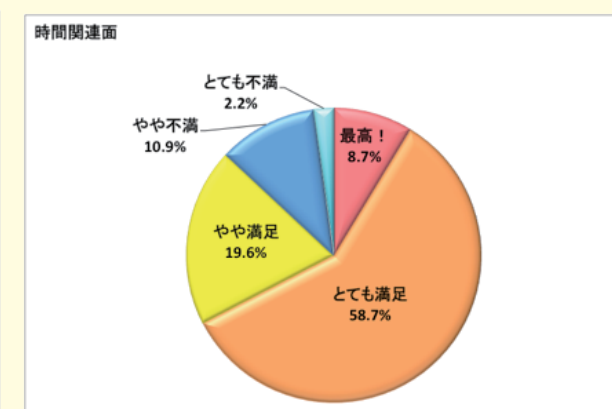
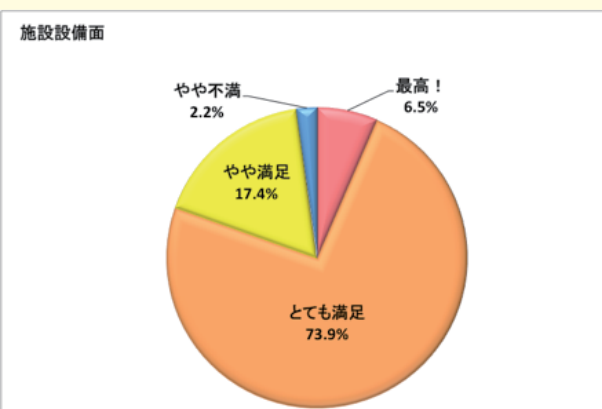
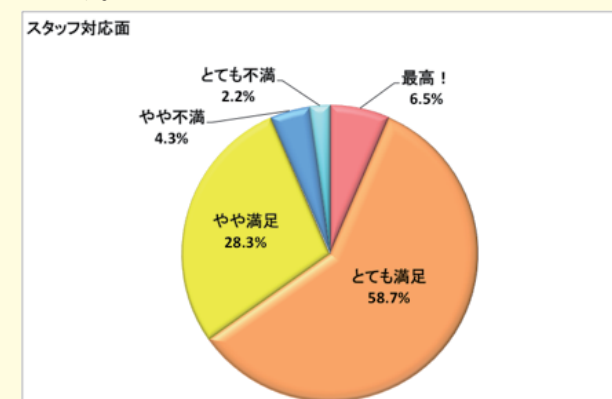
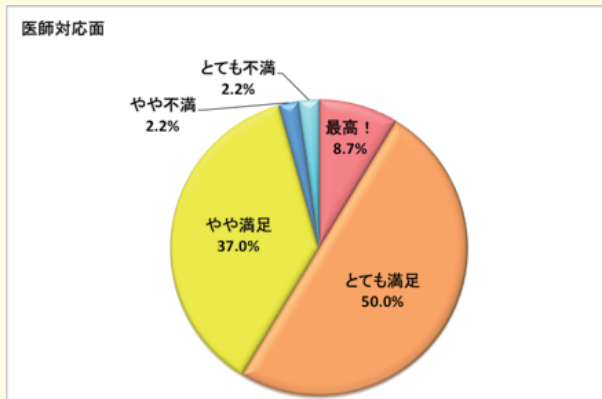
患者さんからの想いを受け取ること。すべてはそこから始まります。前回もお伝えしたことではありますが、

「2016年度患者満足度調査」の結果報告

「測定されないものは、決して改善されない」。この考えはこれからも変わることはありません。私たちはこの測定の結果を常に大事にしています。

今回の満足度調査でいただいた患者さんのご意見を受け、一つひとつ改善をしていきます。

ご協力をいただきました皆さんに心からお礼申し上げます。



◆属性ほか

調査期間 2016年11月1日～11月30日
回答者数 46名（男34、女3、不明1）
対象者数 113名
回答率 32.7%
回答方法 スマートフォン 20名（男性19、女性1）
PC 9名（男性 9、女性0）
BOX 投函 17名（男性13、女性4）

◆評価内容

スタッフ対応面 看護師やスタッフの言葉づかい、態度、状況確認等
医師対応面 説明の明快さや信頼感、相談のしやすさ等
時間関連面 診察や会計の待ち時間、診察・治療時間の長さ
施設設備面 診察室の設備や雰囲気、待ち合いやトイレの快適さ等

Voice 読者の声

「汗」について埼玉県のY.Tさんより次の寄稿をいただきました。ありがとうございます。

非透析日は雨天を除き
5～7千歩の散歩

私は人工透析導入6年目ですが、今まで透析日に水分を残したことは記憶にあるのは過去1回くらい、そして血液検査の結果表を見ても、リン、カリウムもすべて範囲

内です。

「夏でも汗をかかない」という患者さんの声を耳にしますが、私は非透析日には、雨の日以外は往復5千歩から7千歩は散歩しています。夏は首にタオルを巻いて、家に帰ってきて体重計に乗ると200～300gは減っています。昨年から尿は出なくなりました。けれど、汗はちゃんと出ます。暑い夏、エアコンの効いた部屋で1日中過ごしたのでは、汗もかけない。近くの温泉に時々行

って、湯の中で気のあった人と15～20分くらい話をしていると、汗びっしょりになってしまいます。浴場から出た後は、冷えたビールを飲んで爽快です。

また、料理に無関心だった私が今では趣味は惣菜づくりです。自分で作るものが透析患者には合っています。バランスの取れた食事、軽い運動、皮膚の管理が透析患者の使命と思っています。